

各位

三井住友信託銀行株式会社

環境配慮型シンジケートローンによるファイナンス実施について

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 常陰 均、以下「当社」）は、今般、大手金融グループであるクレディ・アグリコル・グループ（本社 フランス）傘下のクレディ・アグリコル銀行東京支店（以下、「CACIB」）向けにシンジケートローンの形式として邦銀初となる「グリーン・ローン」へのファイナンスを実施しました。

「グリーン・ローン」とは、CACIB がその調達資金の用途を「グリーン・ポートフォリオ」に充当することを目的としており、「グリーン・ポートフォリオ」は、CACIB 独自の基準に照らし、優れたパフォーマンスを示す企業・プロジェクトへの融資によって構成されます。

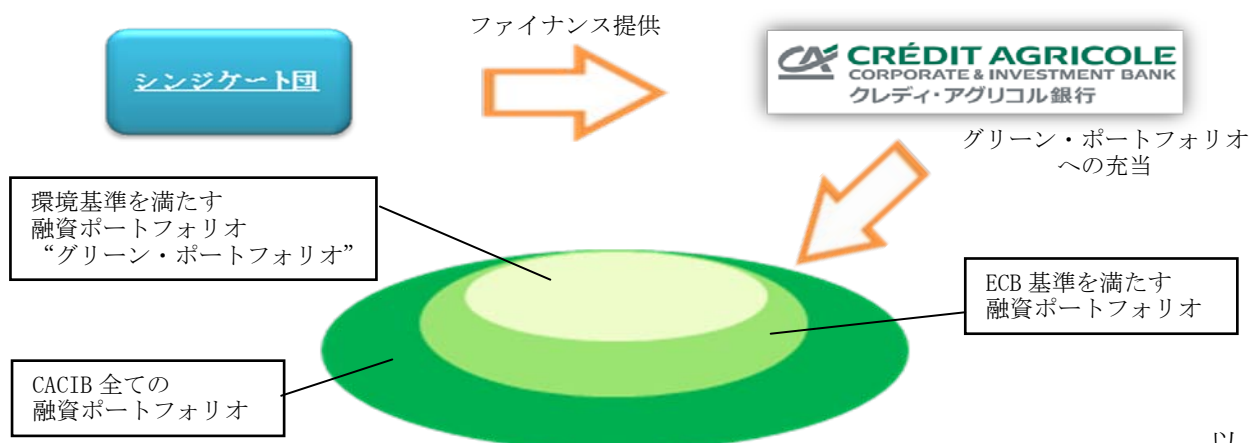
「グリーン・ポートフォリオ」には、様々な業種に対する融資が含まれますが、融資先の企業は ESG 基準（ESG=Environment：環境、Social：社会、Governance：ガバナンス）において高い評価を、再生エネルギーの促進やエコ効率技術の開発並びに環境負荷の制御などの環境基準において競合他社比で最高評価を獲得していることが要求されます。これらの企業は活動セクターにおいて、環境保護・エネルギー効率・気候変動対策を最善の形で実行・促進している企業だと判断されます。

当社は、本シンジケートローンによるファイナンスの実施により、環境への配慮を積極的に行うグローバル企業・プロジェクトを間接的にサポートしていきます。

## 【案件概要】

借入人	クレディ・アグリコル銀行東京支店
金額	60 億円
時期	2013年9月19日
仕組み	下図参照

<グリーン・ローンの仕組み>



以上